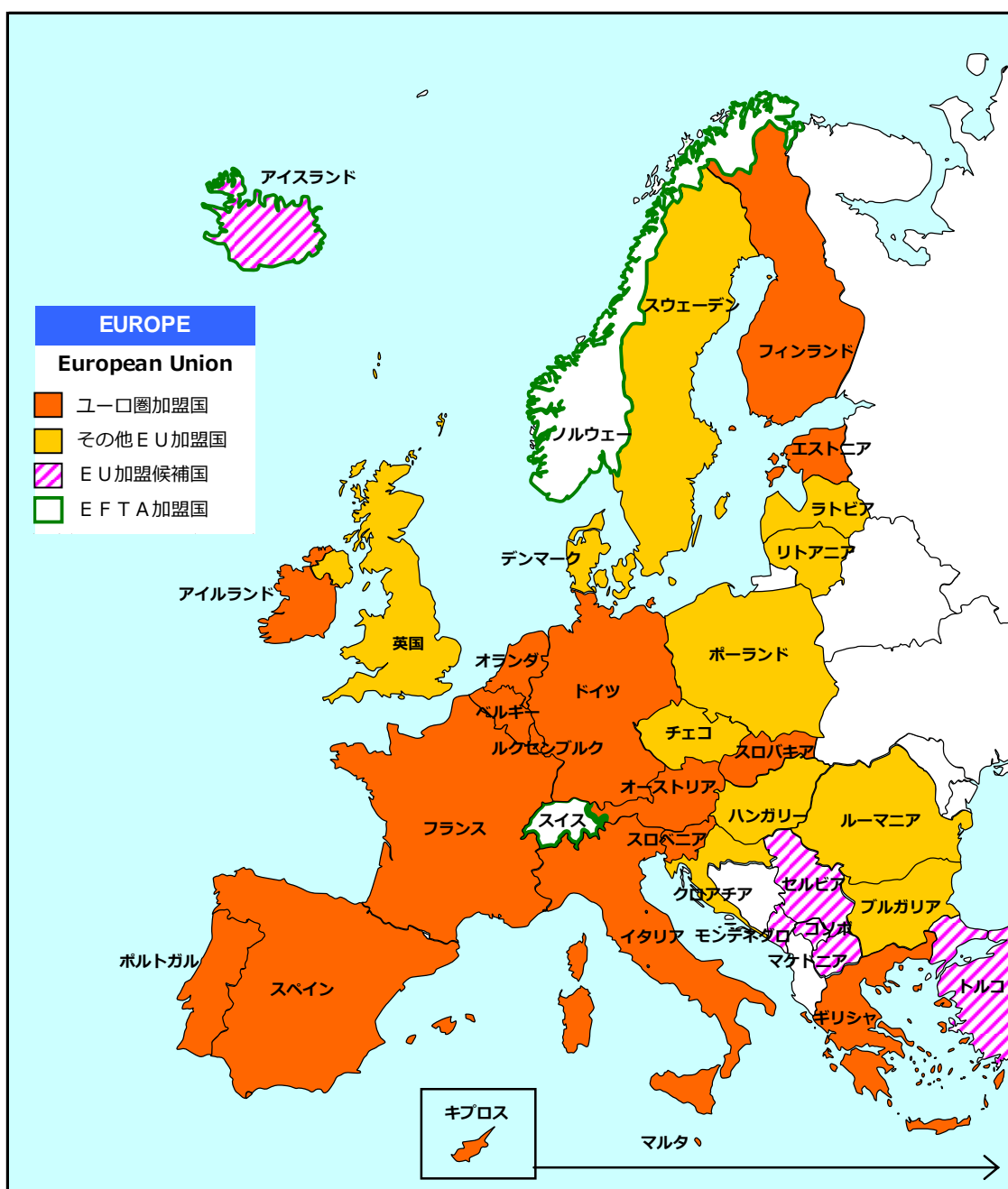


2013年10月21日 全13頁

欧州経済アップデート (2013.10)

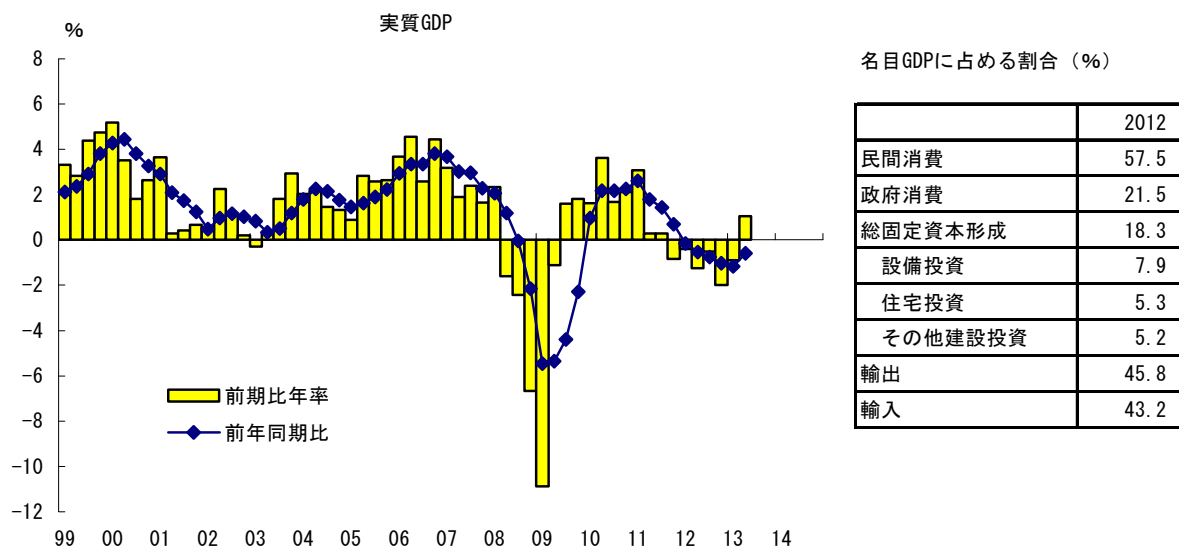
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 13年Q2のGDP成長率（3次推計）は前期比+0.3%と2次推計から変わらず
- 個人消費は同+0.2%から同+0.1%に下方修正されたが、7四半期ぶりのプラス成長に変わりはない。総固定資本形成も同+0.3%から同+0.2%に下方修正
- 輸出は上方修正され、3四半期ぶりのプラス成長がより力強かったことが確認された



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.4	0.9	0.4	0.5	0.8	0.1	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-0.2	0.3
個人消費	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1	-0.5	0.2	-0.6	-0.4	-0.6	-0.1	-0.4	-0.3	0.1
政府消費	-0.4	0.2	0.1	-0.0	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.1	-0.0	0.4
総固定資本形成	-0.2	1.7	0.2	-0.5	2.4	-0.7	-0.2	-0.6	-1.2	-2.0	-0.4	-1.2	-2.3	0.2
設備投資	2.2	2.9	1.5	1.0	2.1	0.1	0.5	-1.0	-0.8	-2.1	-0.6	-1.1	-2.2	0.4
住宅投資	-0.7	1.6	-0.9	-1.8	2.6	-1.2	-1.0	-0.5	-0.6	-1.6	-0.2	-1.4	-1.8	0.6
その他建設投資	-3.1	0.0	-0.5	-1.4	2.5	-1.5	-0.5	-0.2	-2.2	-2.0	-0.4	-1.2	-3.0	-0.6
輸出	3.1	4.3	1.9	2.5	1.7	0.4	1.2	0.4	0.8	0.9	0.7	-0.5	-0.9	2.1
輸入	3.5	4.2	1.3	2.0	1.5	-0.1	0.6	-1.2	0.0	-0.2	0.3	-0.9	-1.0	1.6

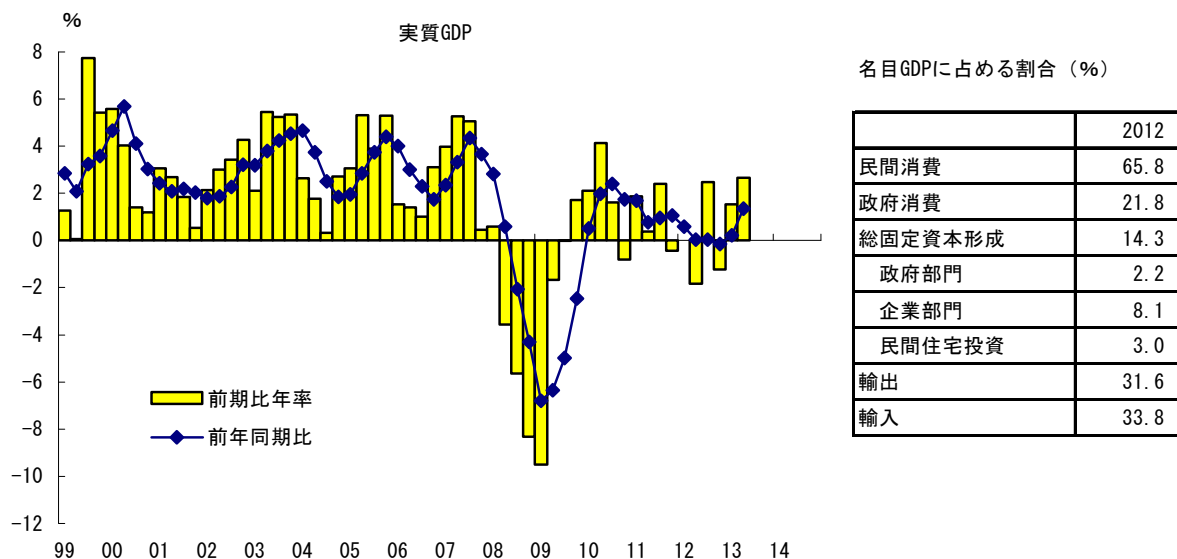
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.41	0.90	0.41	0.53	0.76	0.07	0.07	-0.21	-0.10	-0.31	-0.12	-0.50	-0.23	0.26
個人消費	0.08	0.14	0.17	0.28	0.1	-0.31	0.13	-0.35	-0.20	-0.31	-0.06	-0.23	-0.14	0.06
政府消費	-0.09	0.04	0.02	-0.00	-0.03	0.02	-0.06	0.04	-0.06	-0.05	-0.05	0.02	-0.00	0.09
総固定資本形成	-0.04	0.32	0.05	-0.09	0.44	-0.14	-0.04	-0.11	-0.22	-0.36	-0.08	-0.22	-0.41	0.03
設備投資	0.18	0.23	0.13	0.08	0.18	0.00	0.04	-0.08	-0.07	-0.18	-0.05	-0.09	-0.18	0.03
住宅投資	-0.04	0.09	-0.05	-0.10	0.14	-0.06	-0.05	-0.03	-0.03	-0.08	-0.01	-0.07	-0.09	0.03
その他建設投資	-0.16	0.00	-0.02	-0.07	0.12	-0.08	-0.02	-0.01	-0.11	-0.10	-0.02	-0.06	-0.14	-0.03
在庫変動	0.52	0.30	-0.09	0.09	0.18	0.29	-0.25	-0.42	0.03	-0.08	-0.12	-0.20	0.32	-0.15
輸出	1.22	1.73	0.81	1.05	0.74	0.15	0.54	0.16	0.35	0.42	0.30	-0.22	-0.42	0.94
輸入	-1.30	-1.62	-0.52	-0.80	-0.63	0.06	-0.24	0.48	-0.01	0.09	-0.11	0.36	0.42	-0.67
純輸出	-0.08	0.11	0.29	0.25	0.11	0.21	0.30	0.64	0.34	0.50	0.19	0.14	-0.01	0.27

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 13年 Q2 の GDP 成長率（3次推計）は前期比+0.7%と2次推計から変わらず
- 12年 Q1 以降の総固定資本形成及びその内訳の成長率が修正され、Q2 の民間住宅投資は3四半期連続のプラス成長となった
- 純輸出は2四半期連続のプラス寄与だが下方修正され、寄与度はごく小さかった



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.5	0.6	-0.3	0.4	0.7
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.3	0.4	0.1	0.6	0.5	0.3
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.4	-1.4	0.2	0.3	-0.2	0.5
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	3.6	-0.8	-2.4	-3.8	0.1	0.8
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	16.5	-2.9	-6.3	-2.0	-11.7	14.1
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	6.6	-2.4	-1.0	-6.6	1.7	-2.7
民間住宅投資	23.8	18.5	-4.6	-0.2	-6.5	6.2	7.8	1.1	-8.8	1.4	-1.9	1.4	3.0	2.7
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.8	-0.4	2.0	-1.7	0.1	3.0
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.6	1.4	0.8	-0.9	-0.8	2.9

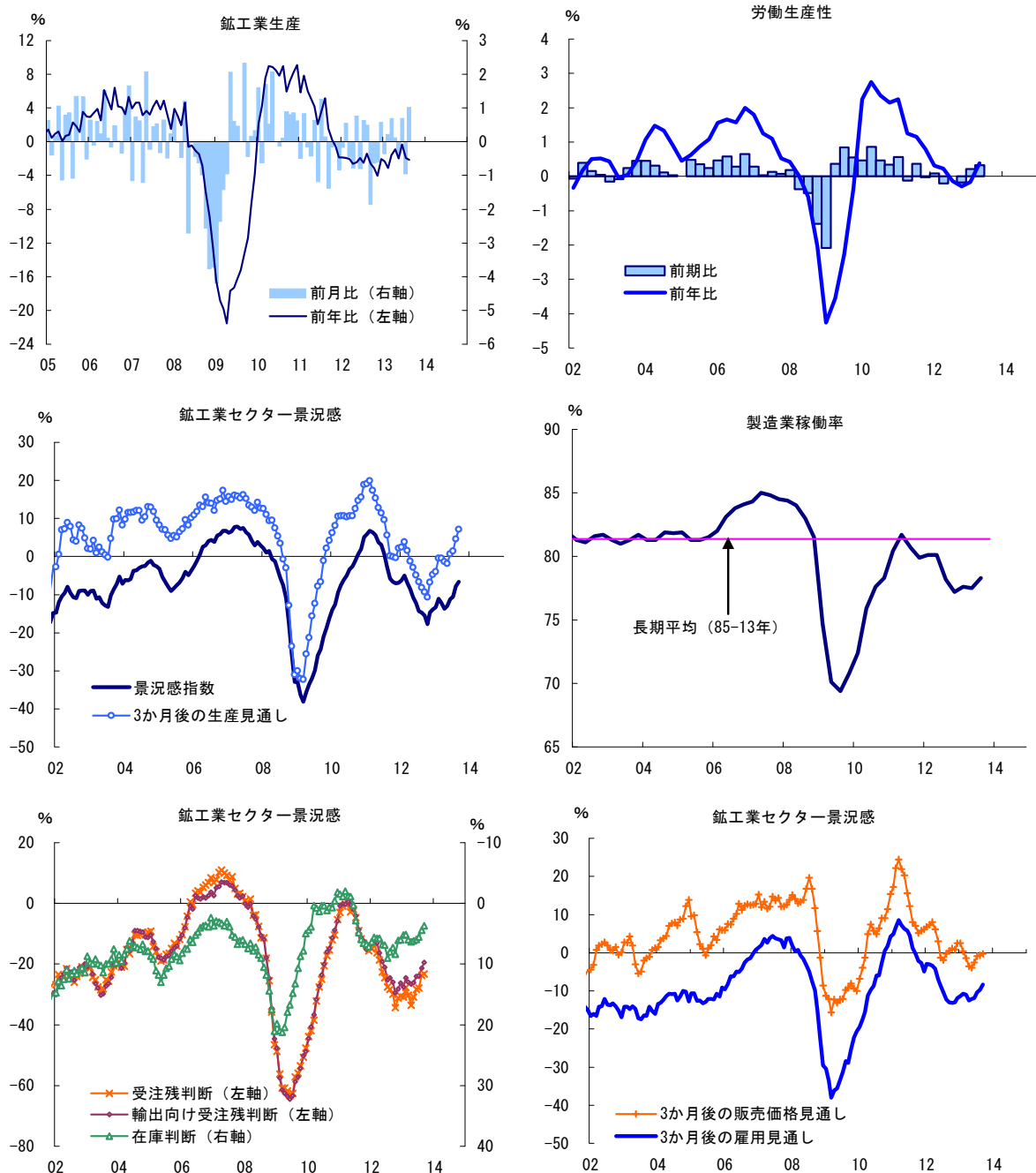
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	0.00	-0.46	0.61	-0.31	0.38	0.66
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.18	0.29	0.06	0.37	0.35	0.19
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.54	-0.32	0.06	0.06	-0.05	0.12
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.52	-0.12	-0.36	-0.55	0.02	0.10
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.34	-0.07	-0.15	-0.04	-0.25	0.27
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.53	-0.20	-0.08	-0.54	0.13	-0.21
民間住宅投資	0.55	0.52	-0.15	-0.01	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.30	0.04	-0.06	0.04	0.09	0.09
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.31	0.36	0.48	0.01	-0.30	0.16
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.57	-0.14	0.64	-0.55	0.02	0.94
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.21	-0.47	-0.26	0.31	0.27	-0.94
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.78	-0.61	0.37	-0.24	0.29	0.00

注：英国統計局の基準改定により、企業部門と民間住宅投資が遡及して修正された（13年 Q1 の第3次推計で発表）。新基準では、従来含まれていた経済的価値を生み出さない既存の建造物や土地などの譲渡に関する費用が除外されている
出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 8月の鉱工業生産は資本財の牽引により前月比+1.0%とプラスに転換。前年比では-2.1%と前年割れが続く
- 9月の鉱工業セクター景況感は5か月連続の前月比改善。構成要素である3か月後の生産見通しの改善が目立つ。受注残判断と在庫判断も順調に改善
- 3か月後の販売価格見通し及び雇用見通しも緩やかに改善している

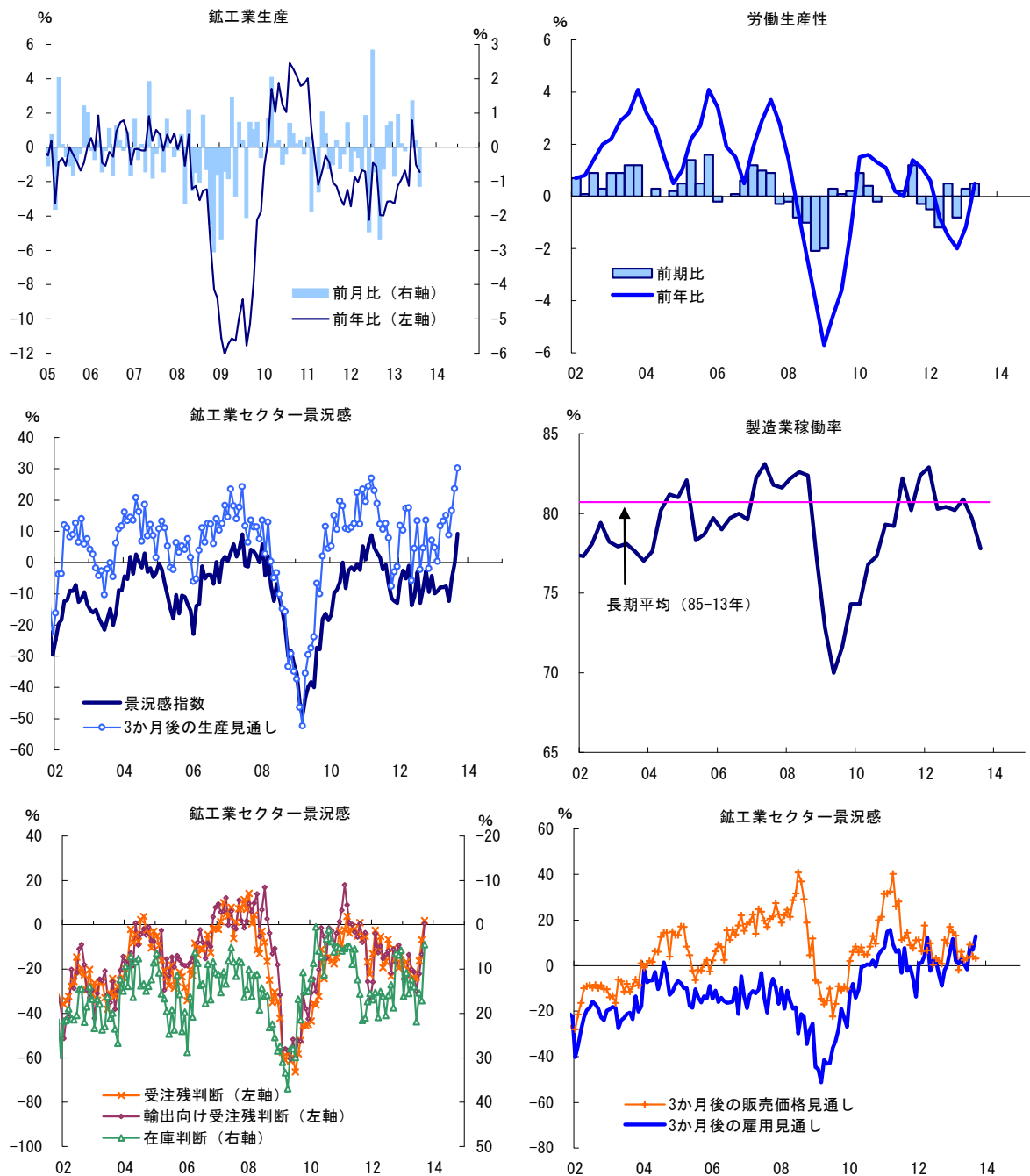


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 8月の鉱工業生産は前月比-1.1%と4か月ぶりのマイナス。主要4セクターすべてが減少したが、最大のマイナス寄与は製造業。前年比は、鉱業の不振により-1.5%
- 9月の鉱工業セクター景況感は前月比で大幅に改善。特に3か月後の生産見通しが大きく改善したが、受注残判断や在庫判断も改善した
- 13年Q2の労働生産性は前期比+0.5%と2四半期連続のプラス。前年比では+0.5%と12年Q1以来初のプラス成長に転じた

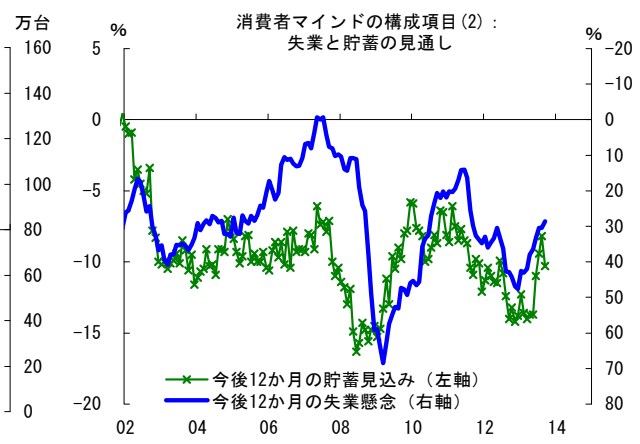
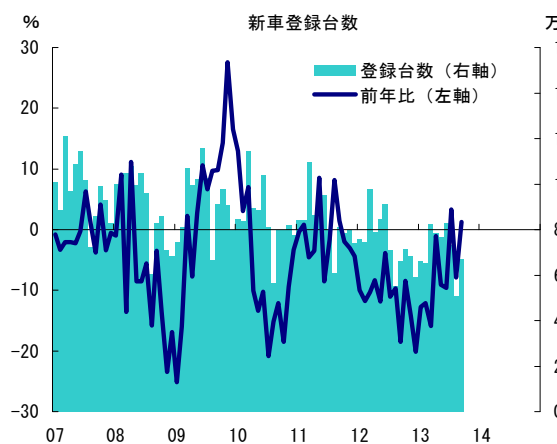
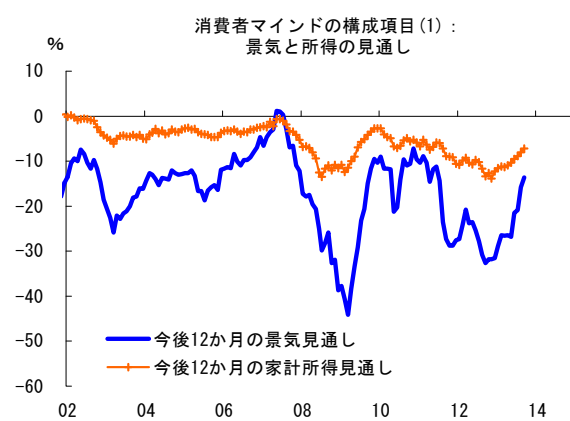
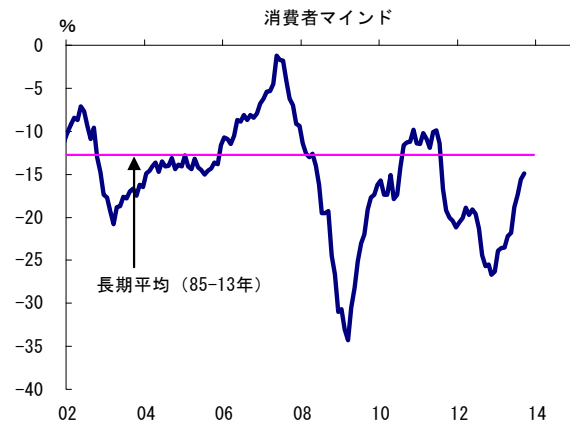
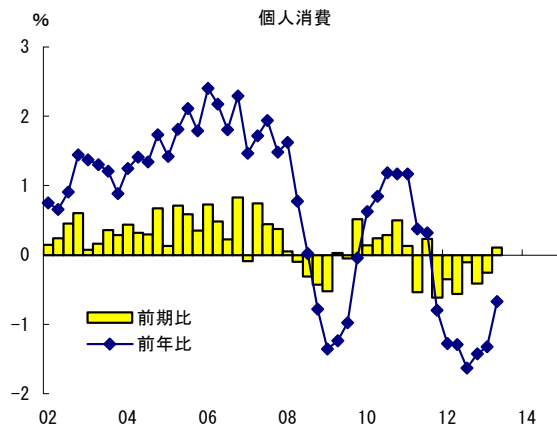


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 8月の小売売上高は前年比 -0.3% と3か月連続の前年割れ
- 9月の新車登録台数は前年比 $+1.2\%$ 。7月に続いて今年2回目の前年比プラスを記録
- 9月の消費者マインドは前月比での改善続く。構成項目を見ても、今後12か月の景気見通しを始め改善が続くが、今後12か月の貯蓄見込みは6か月ぶりに前月比で悪化となった

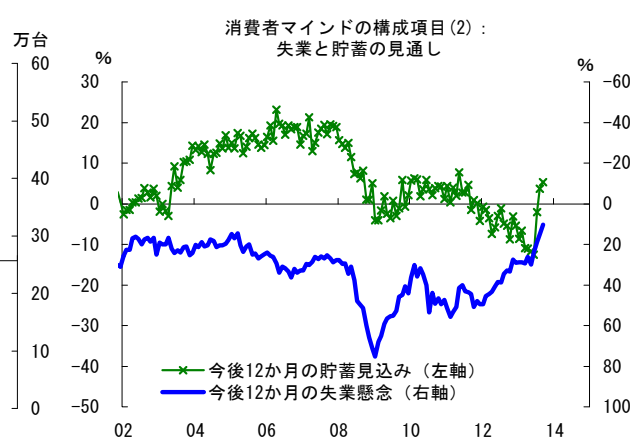
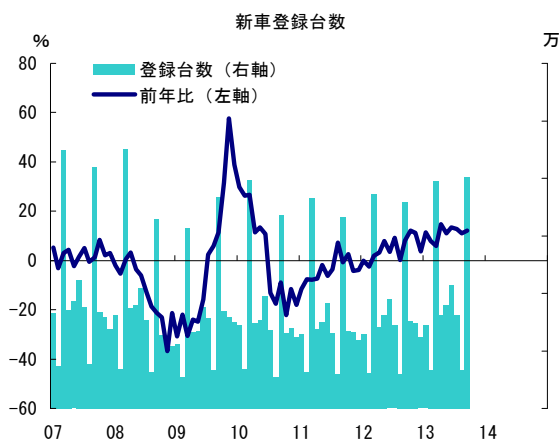
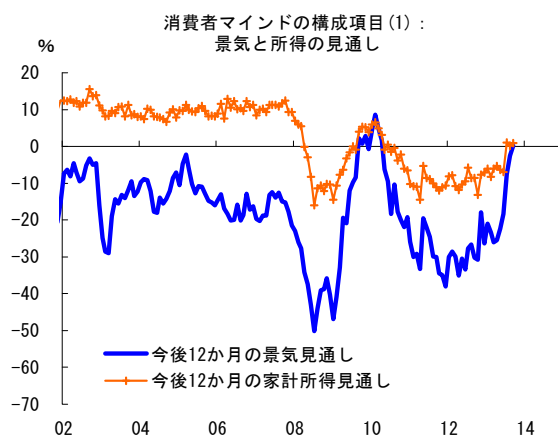
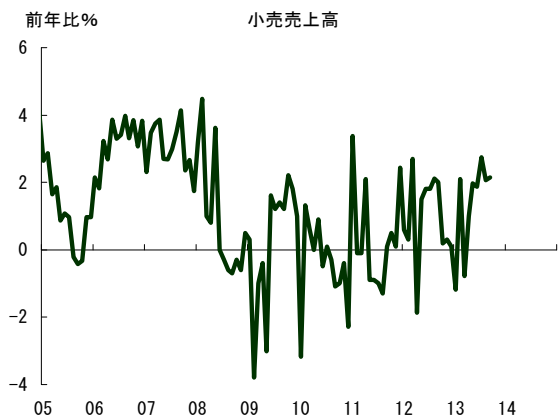
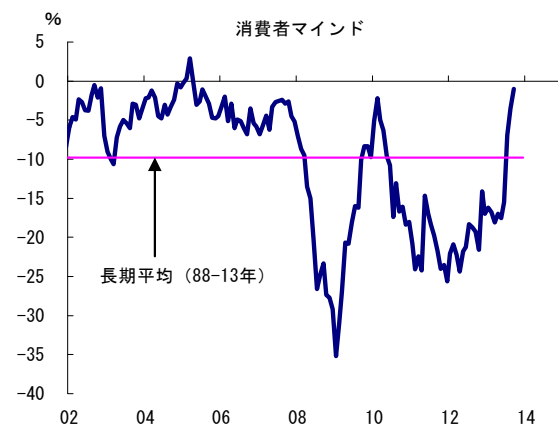
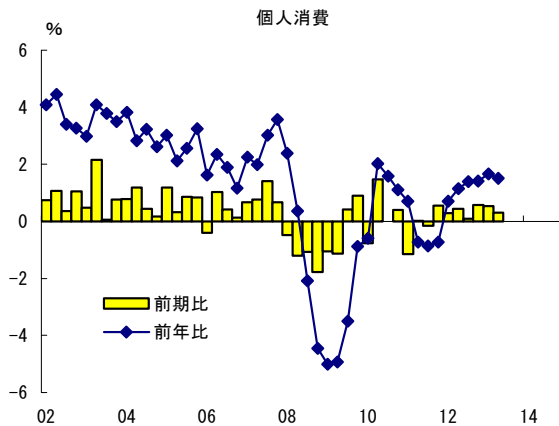


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 9月の小売売上高は前年比+2.2%と8月とほぼ変わらず。無店舗セクターの好調は継続。Q3では前四半期比+1.5%と08年Q1以来の大幅な伸びを記録
- 新車登録台数は12年3月からのプラス成長が継続し、9月は前年比+12.1%
- 9月の消費者マインドは、リーマン・ショック後のピークである10年2月の水準を超えた

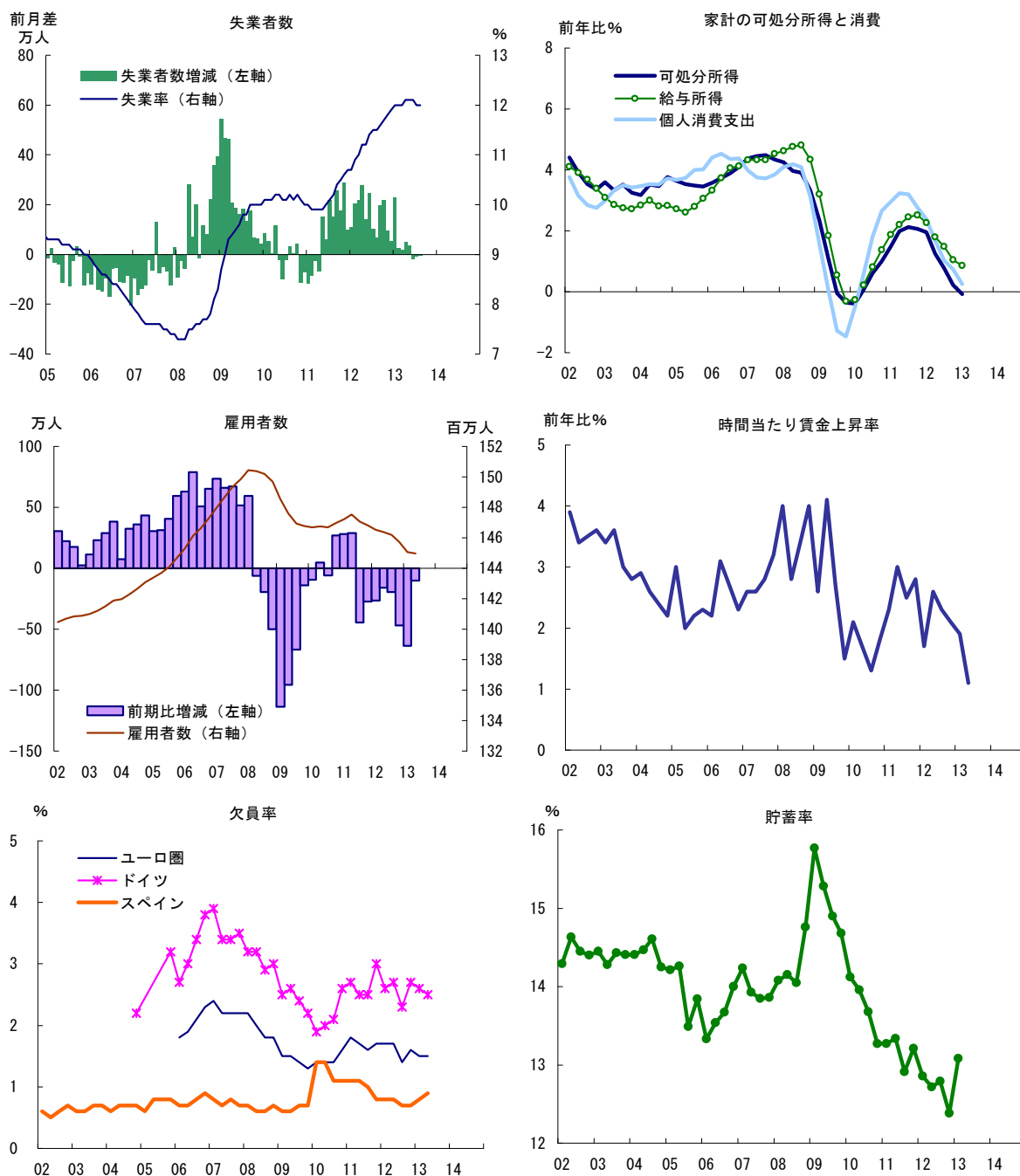


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 8月の失業者数は前月比-5千人となり、3か月連続の減少。7月と同様、25歳未満の失業者の減少が貢献
- ユーロ圏で最も失業者数が多いスペインでは、失業者数が6か月連続で前月比減少し、失業率も低下
- フランスでは8月に約2年ぶりに失業者が前月比でわずかながら減少した

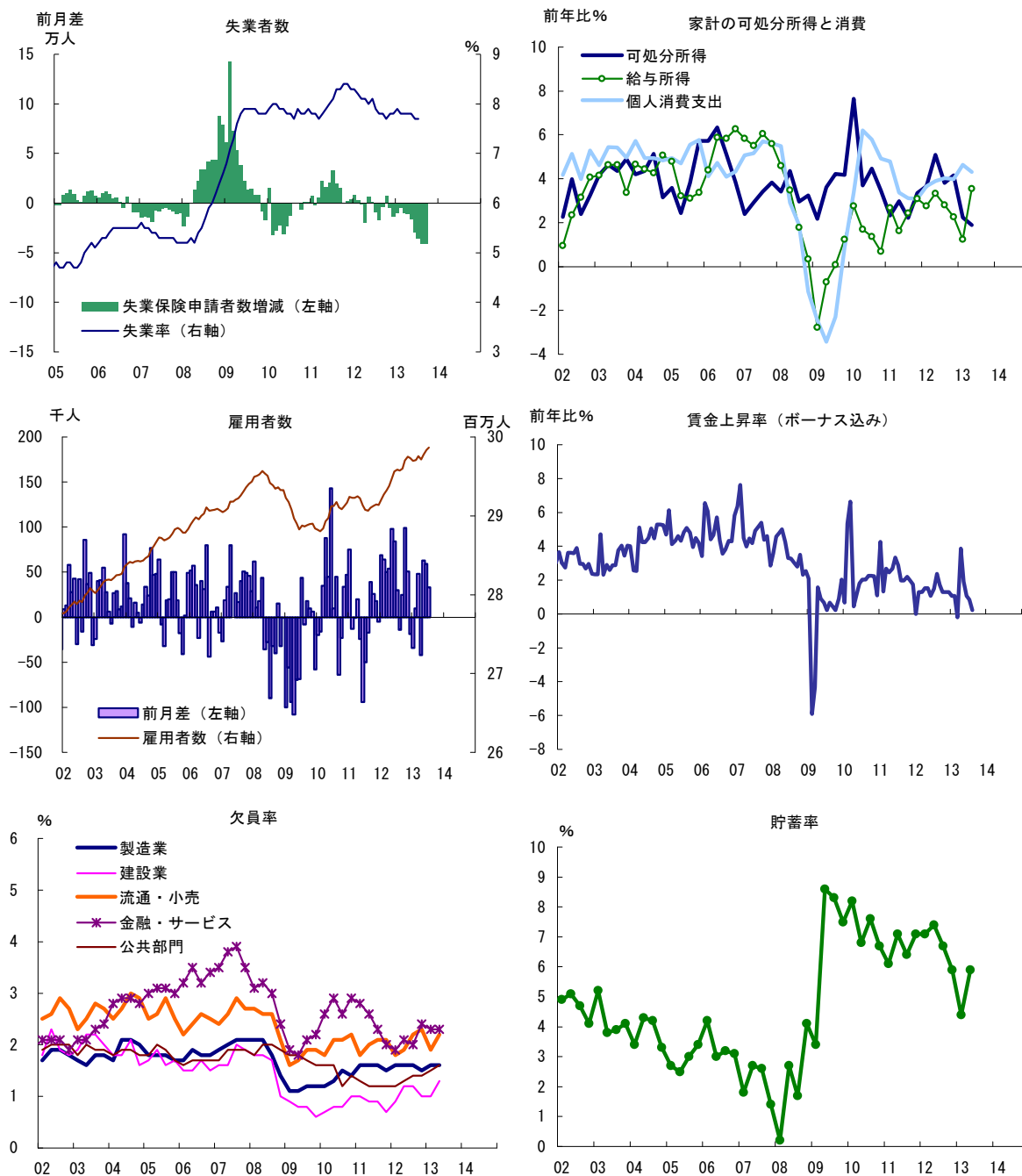


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 6-8月の雇用者数は5-7月比+3万3千人と増加が続く。しかし、フルタイムの仕事が見つからないためにパートタイム労働している就業者は、92年の統計開始以来最多
- 8月の賃金上昇率は前年比+0.2%。公的部門のボーナス大幅減が主要因
- 13年Q2の家計の給与所得は前年比+3.5%とQ1の同+1.2%から大きく増加。一方、可処分所得や個人消費の伸びは減速し、貯蓄率はQ1の4.4%からQ2には5.9%に上昇した

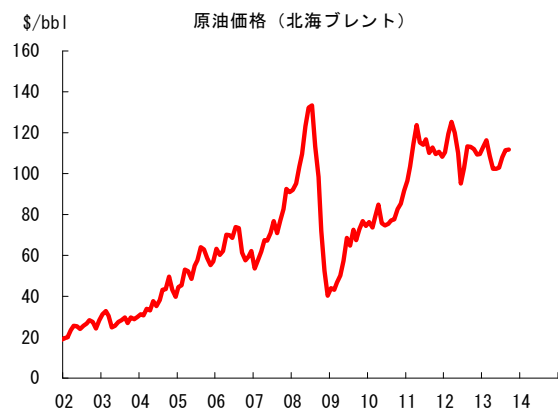
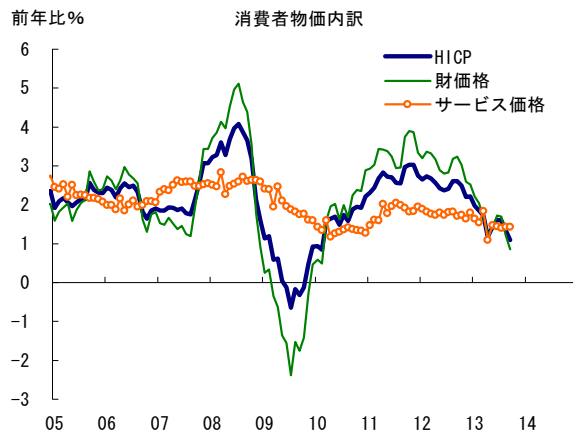
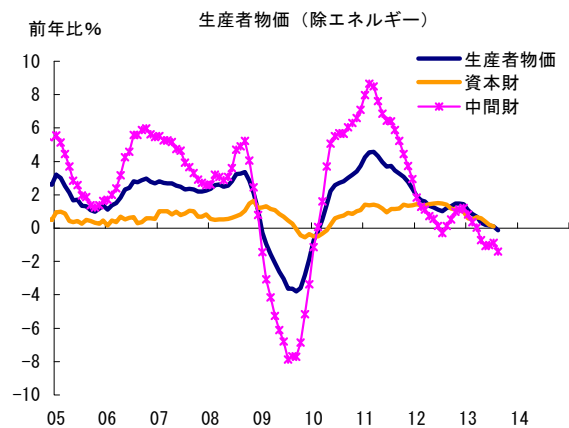
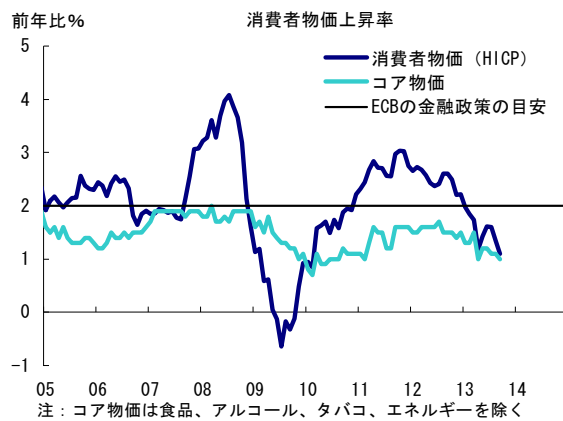


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

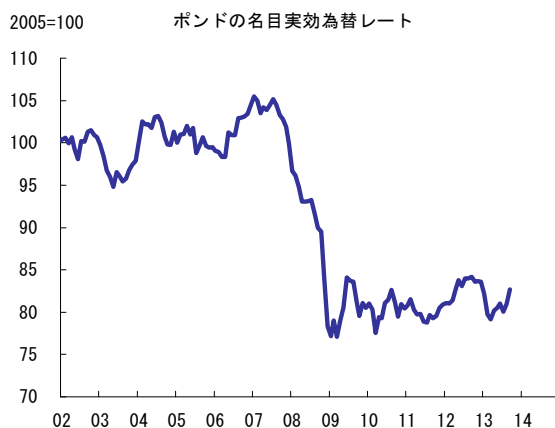
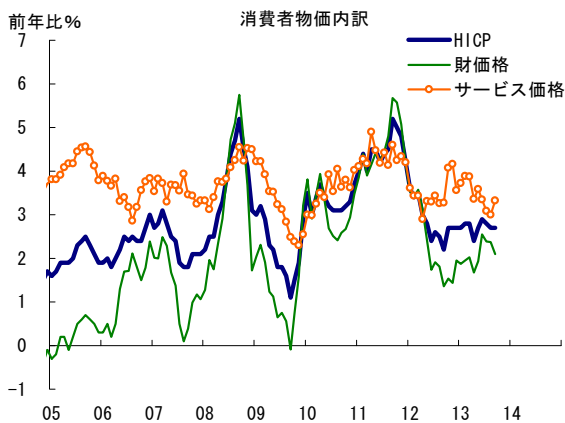
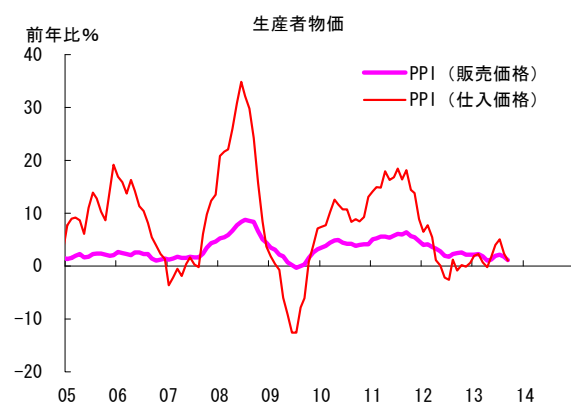
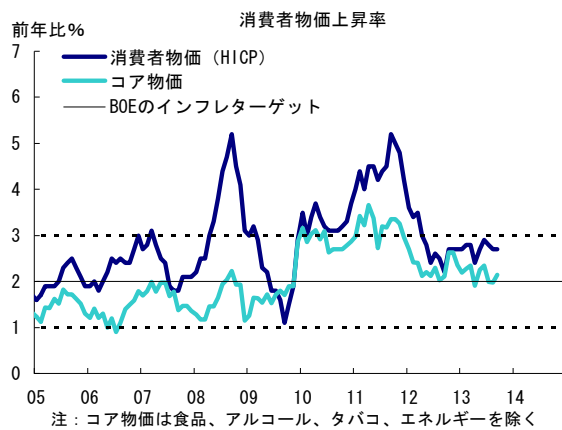
- 9月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.1%となり、低下が続く。内訳を見ると、工業製品がわずかながら前年割れに転じ、エネルギー価格の前年割れが継続
- 8月の生産者物価は前年比-0.1%と10年2月以来の前年割れ。中間財は前年割れが続く
- 8月の独輸入物価は前年比-3.4%。9月のユーロの名目実効為替レート及び原油価格（北海ブレント）はともに8月からほぼ横ばい



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

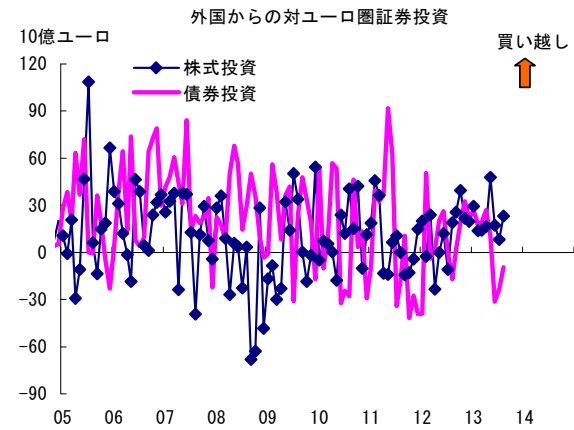
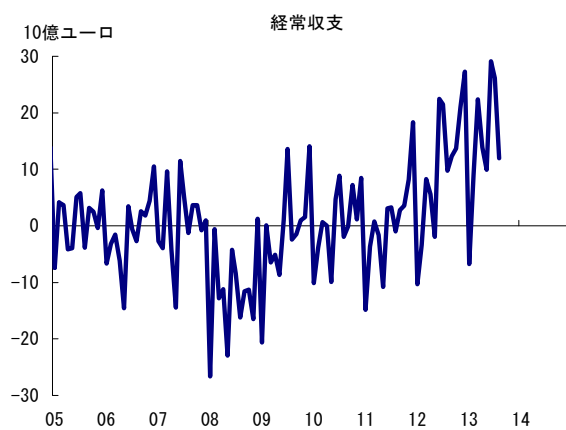
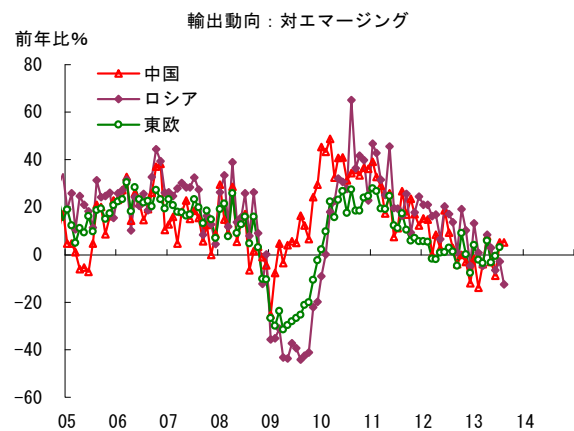
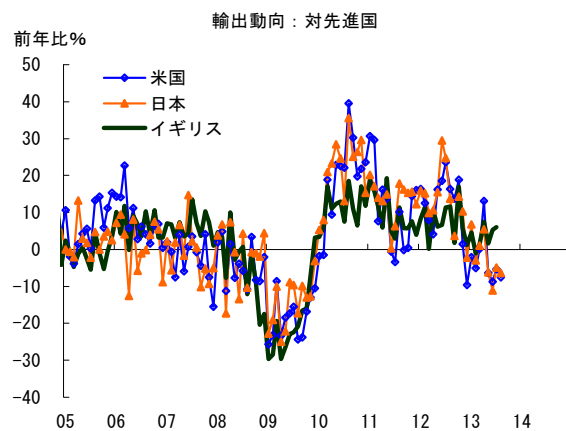
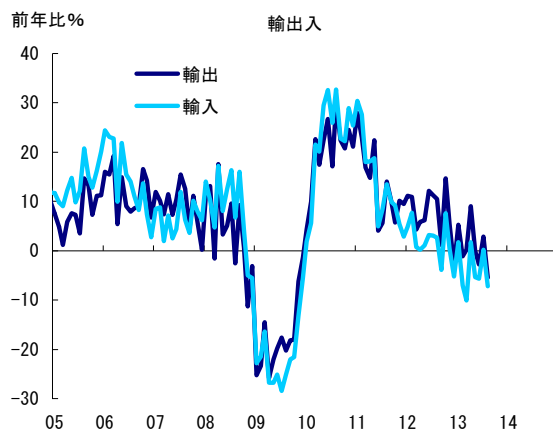
- 9月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.7%と8月から変わらず。航空運賃は上昇したが、自動車燃料価格の下落で相殺された
- 9月の生産者物価上昇率は、販売価格は石油及び化学・医薬品のマイナス寄与により前年比+1.2%に低下。輸入材料（特に金属）価格の低下により、仕入価格は同+1.1%まで減速
- 8月の輸入物価上昇率は前年比+1.2%。9月のポンドの名目実効為替レートは前月比上昇



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

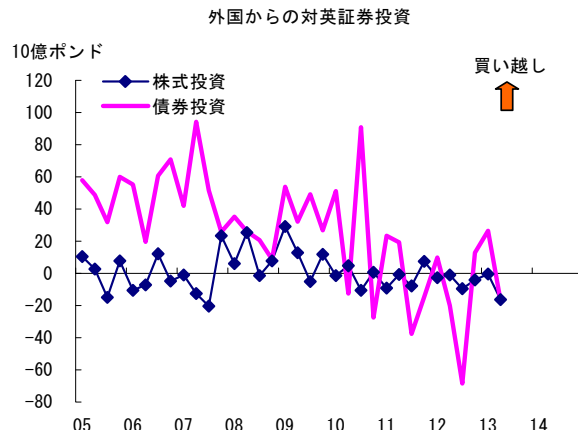
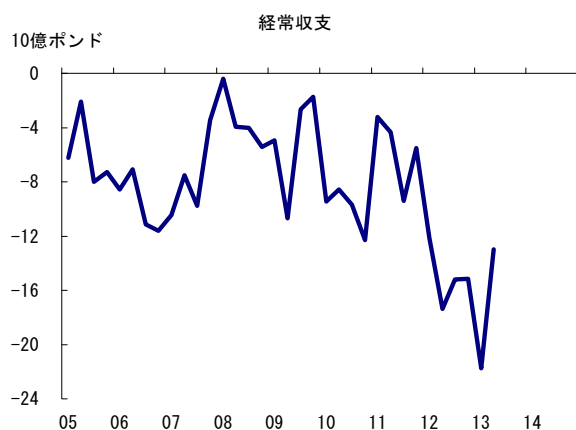
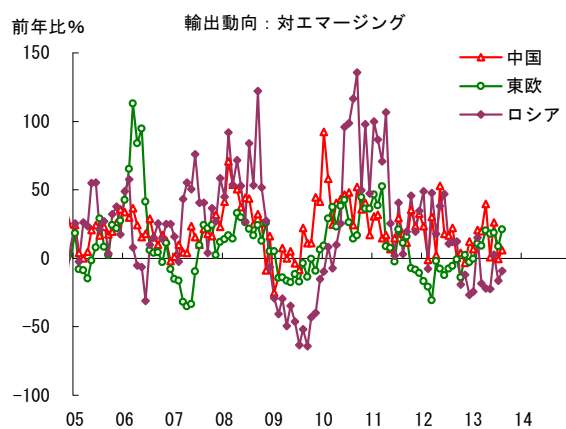
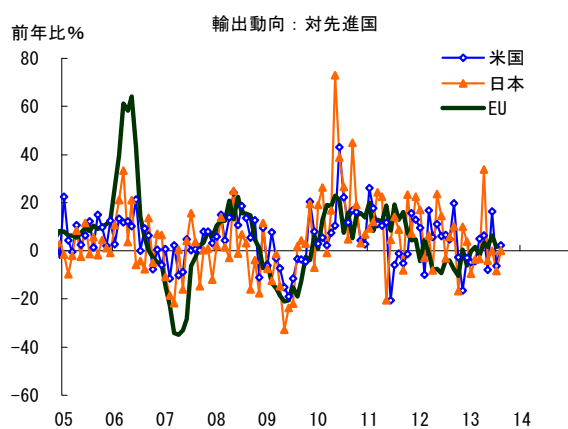
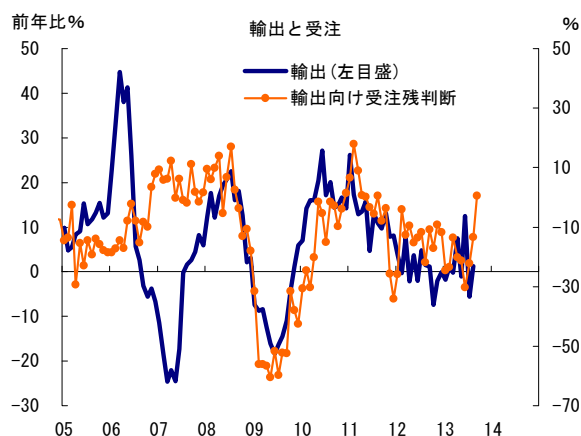
- 8月の輸出は前年比-5.4%、輸入は同-7.2%と前年割れ。ともに工業製品のマイナス寄与が主要因。9月の輸出向け受注残判断は改善傾向が続く
- 国別輸出動向を見ると、米国、日本向けの前年割れが継続。対エマージングではロシア向けがより一段と落ち込んだが、中国向けは2か月連続の前年比プラス
- 貿易収支黒字の減少により、8月の経常収支は120億ユーロの黒字となった。外国からの対ユーロ圏証券投資は3か月ぶりの買い越しに転じたが、債券投資の売り越しは継続



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 8月の輸出は主に工業製品のプラス寄与により、前年比+1.2%。輸入は燃料のマイナス寄与により、同-0.9%と4か月ぶりのマイナスに転落
- 国別輸出動向を見ると、日本、米国及び中国向けがプラスに転じた。EU及び東欧向けはプラス成長が続く。9月の輸出向け受注残判断は、11年8月の水準まで急改善
- 所得収支赤字の大幅縮小により、13年Q2の経常収支は130億ポンドの赤字と赤字幅縮小。外国からの対英証券投資は債券投資が売り越しに転落、株式投資は売り越し額が増加



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成